

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和元年度第1回佐渡市公の施設指定管理者評価委員会
開催日時	令和元年7月10日(水) 10:00~12:00
場所	佐渡市役所 本庁 3階 大会議室
議題(会議内容)	1 開会 2 評価及び採点方式など全体説明 3 議題(評価) 佐渡市ケーブルテレビ放送施設 4 結果報告 5 閉会
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	≪佐渡市公の施設指定管理者評価委員≫(5名) ・委員長 佐々木宏史 ・委員 嶋田浩彰、及川智子、中村美登里、本間救  ≪指定管理施設運営者≫ ・佐渡市ケーブルテレビ放送施設 (株)佐渡テレビジョン  ≪事務局≫ 総務課 広報戦略室 室長 高野凡子 情報政策係長 倉内学、主任 本間義也 防災管財課 管財係 主任 長嶋麻紀、長尾啓介
傍聴人の数	0人

会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
	事務局から評価採点方法等の説明の後、佐渡市ケーブルテレビ放送施設の説明、委員からの質疑、採点、回収を行った。  佐々木委員長進行

及川委員	労働条件の確認ですが、フレックスタイムを導入しているようだが、法改正がありフレックスタイムの内容が変わっているがその対応は大丈夫か、年休年5日取得の実施、労働者ごとの記録管理簿を備えているか、就業規則の方も整理しているか、年1回の健康診断実施は間違いなく行っているか。
(株)佐渡テレビジョン	間違いなく行っている。
嶋田委員	資料③管理運営の効率化の部分で(1)が運営経費、(2)が収入になっているが、自主事業等収入の前年度3,876,000円の部分が事業収入の営業収益のどこに一致するのか。 運営経費の部分で人件費の30,555,000円は指定管理の6人分で良いか。 費用対効果の部分で支出合計と加入世帯数の割合で数値をはじき出しているが、同業者で指定管理を受けて行政のものをやっているところがあるのか、そこと比較ができるのかどうか。14.4は実績値は上がっているが、これがどう判断して良いか分からない。
(株)佐渡テレビジョン	STBの売り上げはこの中には含まれていない。本来含むべきものであったのですが、計上していなかったこともあり、今回提出させて頂いた事業報告は、佐渡市との間で修正報告させていただく。 人件費は、指定管理業務の6人は専任ではなく兼務なので、総従業員の人件費を案分したものだ。案分率は昨年度の場合は、売上で佐渡テレビジョンが73.91%、佐渡市が26.09%。 費用対効果ですが、新潟県内では指定管理の事業者はいません。国内には指定管理者としてやっているところがあるが、こういった費用対効果の出し方をしているのか、調査していない。改めて調査する。
佐々木委員長	補足ですが、平成30年3月末の総務省調べで、発表は今年5月で、全国平均のケーブルテレビ加入率が52.6%、新潟県全体で26%前後が指標となる。自主放送ありの場合。
中村委員	人件費のところ、この6名分かなと疑問があったが今の説明で分かった。
本間委員	(株)佐渡テレビジョンの資本は。
(株)佐渡テレビジョン	資本の内訳は、68%が株式会社マルゴ、あとはトーススなど。
佐々木委員長	資料①(2)-1利用促進の取組の計画数値との乖離率が25~30%と大きくなっているが修正をしなかったのか。理由の分析が出来ているか。目標120の根拠があるのか。

株佐渡テレビジョン	こちらは公募の際、公募申請時の目標数値、月 10 件ノルマ。
佐々木委員長	資料①(3)-1 S T B 普及促進事業の目標値も相当な乖離があるが、これも最初の数値か。
株佐渡テレビジョン	最初の目標値。
佐々木委員長	これは修正する必要があると思うが。
株佐渡テレビジョン	来年度からの公募申請手続きで修正する予定。
佐々木委員長	インターネット配信が伸びているのでコンテンツの重複もあるので、目標値を再度考える必要がある。現実的にこのまま伸びるとは思えない。
株佐渡テレビジョン	視聴の仕方が多様化して通信とテレビ放送の境目がなくなっている中で、これまで多チャンネルはC A T V の独壇場だったが、OTT 事業者の台頭などの理由でこれからはそうでないという認識はある。目標値は下げざるを得ないという認識でいる。
佐々木委員長	資料② (1) -2 サンプル回答率が 15%程度しかない。母数は 1,000 ということで合理的な数字だと思うが、解答率も地域に偏りがある。このサンプルで正しいと思われるかどうか。
株佐渡テレビジョン	アンケート調査の目的は、加入しているけど視聴されていないのはなぜか、どういった施策をとれば、休止している方が再開してもらえようということが主な調査目的だった。それがニーズ調査とイコールにはならないと思っている。回収方法は郵送で返信用封筒をつけて、返送してくださった方には 500 円の商品券配るという手法で行った。実際の回答数はここに書いてあるとおりで、サンプルの数は多いとはいえず、即正しい判断材料という訳にはいかないので、傾向として捉えている。
佐々木委員長	評価資料ではないのですが、評価シート 1 4 番、日常及び緊急時の対応について、先日の地震の際にこれがいかされたかどうか、役に立ったのか。
株佐渡テレビジョン	事前に災害対策マニュアルを各部に配布しており、震度 4 発表後は、部門長、スタッフが会社を集まりマニュアル通り動けた。佐渡市と連絡、情報提供を頂き、30 分以内には緊急情報ニュースの放送を開始した。
佐々木委員長	加入率は全国平均から大きく上回っている。ただし、今後の伸び率には今まで以上の施策が必要と考えている。

**【 審 査 】**

4 結果報告

5 閉会